

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。  
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

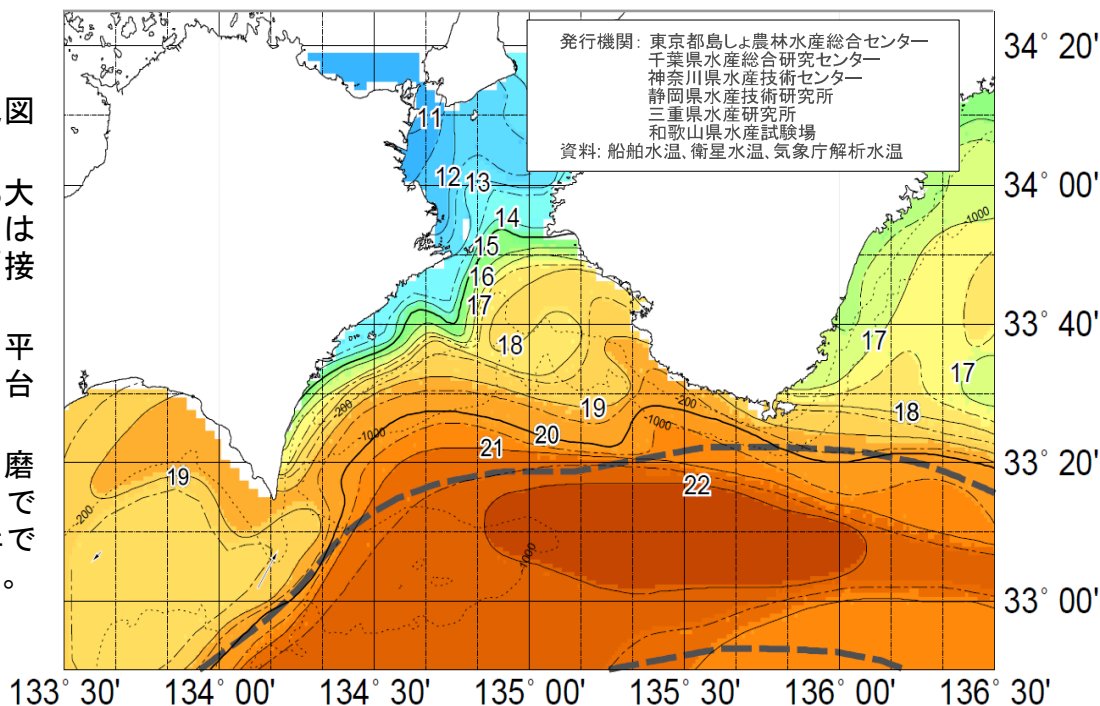
### 1. 周辺海域の水温

右に3月28日時点の海況図を示した。

黒潮の位置は、前号から大きく変わらず室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「接岸」で推移した。

黒潮本流の表面水温は平年より高めの20℃～22℃台となっている。

徳島沿岸の水温は、播磨灘で10℃台、紀伊水道で10℃～12℃台、海部沿岸で13℃～14℃台となっている。

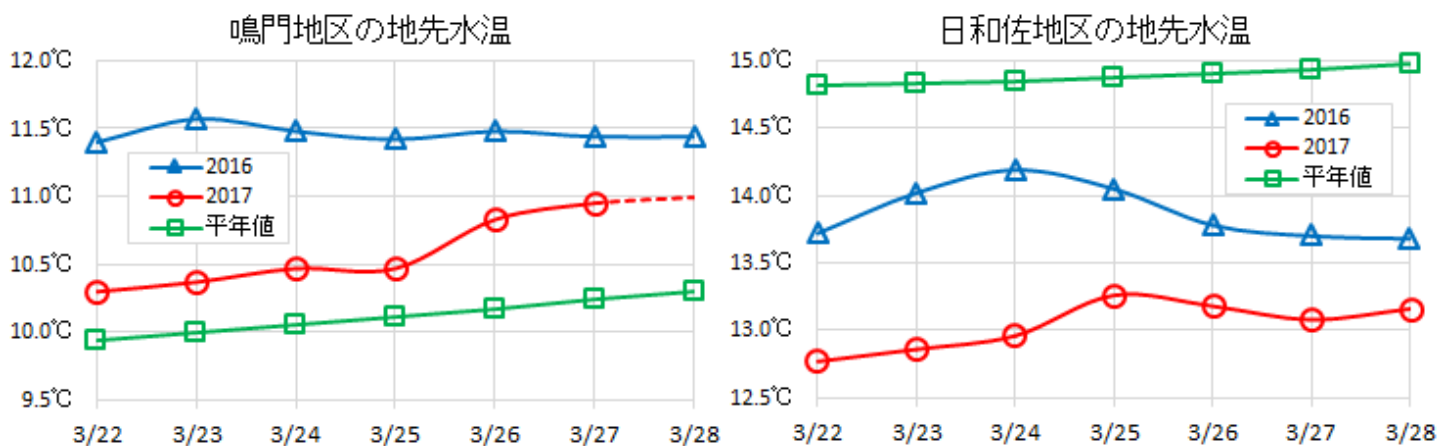


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

### 2. 地先水温(3月22日～3月28日)

鳴門地区の地先水温は、期間前半「平年並み」の10.3℃～10.5℃で推移したのち、25日から26日にかけて上昇し、後半は「やや高め」の10.8℃～10.9℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、「低め」の12.8℃～13.3℃で推移した。日和佐地区は1月19日以来、水温が平年を下回る状態が続いている。



※水温の高低 平年並: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区: 1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区: 1982年～2015年の平滑平均値

### 3. 週間予報(3月29日～4月4日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「離岸」、潮岬沖で「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の11℃台、日和佐地区は「低め」の13℃台で推移する見込み。

# 漁況

2017年3月20日～3月26日（旧暦2月23日～2月29日）

## 1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

全体的に水揚げが増えた。

釣りでは、タチウオが前週並みの0.3ト水揚げされた。

延縄では、タチウオが大きく増えて6.4ト、マサバが増えて大主体に0.9ト、マアジも増えて大主体に0.4ト、ゴマサバが大主体に前週並みの0.3ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えてはまち主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが大きく増えて大主体に1.4ト、クロダイも大きく増えて1.0ト水揚げされた。

## 2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

大型定置網の水揚げが大きく減った影響で、全体の水揚げは減った。

釣りでは、タチウオが減って0.7ト、ブリが増えてめじろ主体に0.5ト水揚げされた。

延縄では、いとより類が大主体に前週並みの0.5ト、アカムツが増えて0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが減って0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが減ってめじろ主体に1.2ト、スルメイカが大きく減って小小主体に0.9ト、イシダイが増えて0.7ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	10	タチウオ	294	29		→
	延縄	95	タチウオ	6,408	67		↗↗
		74	マサバ	851	11	大主体	↗
		53	マアジ	409	8	大主体	↗
		65	ゴマサバ	340	5	大主体	→
	建網	25	カワハギ	227	9	大主体	↗↗
	小型定置網	10	ブリ	216	22	はまち主体	↗↗
	底びき網	46	コウイカ	1,412	31	大主体	↗↗
		30	クロダイ	953	32		↗↗
		24	マダイ	283	12		↗↗
海部沿岸	釣り	18	タチウオ	735	41		↘
		22	ブリ	494	22	めじろ主体	↗
	延縄	23	いとより類	543	24	大主体	→
		16	アカムツ	308	19		↗
		31	キダイ	224	7	大主体	→
	小型定置網	10	カタクチイワシ	333	33		↘
	大型定置網	9	ブリ	1,191	132	めじろ主体	↘
			スルメイカ	923	103	小小主体	↘↘
			イシダイ	730	81		↗
			クロダイ	392	44	大主体	↗↗
マサバ			263	29	小主体	↘↘	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘